

金子直吉がお家再興の夢をかけた羽幌炭鉱

羽幌炭鉱三山大集会

羽幌炭鉱閉山 50 年記念事業



と き 2020 年 9 月 20 日 (日) 午後 5 時

ところ はばろ温泉サンセットプラザ 大ホール (2 F)

内 容 講演「金子直吉がお家再興の夢をかけた羽幌炭鉱」 講師未定

講演終了後、懇親会で炭鉱の思い出を語りましょう。

会 費 5,000 円 (懇親会参加者)

参 加 2020 年 6 月から参加者を受け付ける予定です。

ツアー 羽幌炭鉱ツアー 9/20 13 : 00 ~ 16 : 00 ・ 9/21 8 : 00 ~ 11 : 00

バスを用意します。都合のよい日で参加を受け付けます。

※ツアー参加費 別途 1,000 円

羽幌炭鉱の歴史

かつて北海道の北の街、羽幌には日本有数の炭鉱の街「羽幌炭鉱」があった。

羽幌炭鉱は、「石炭産業は必ず国策的な産業になる」という金子直吉の持論から鈴木商店破綻後の主家再興の夢を賭けた炭鉱であり、金子直吉の意思により鉱区を取得した太陽槽達（後・太陽産業、現・太陽鉱工）が昭和6年に実地調査を開始したのが始まりである。

羽幌炭鉱は、築別炭鉱、羽幌本坑、上羽幌坑の3地区からなり、昭和36年には出炭量が100万トンを超え優良炭鉱として名を馳せた。

スポーツでは「羽幌飛行隊」と呼ばれたジャンプ、都市対抗野球大会出場の野球部、等が活躍し、文化では宝塚歌劇団「雪組」の公演が開催される等、炭鉱の街としての隆盛を誇った。しかし、国のエネルギー政策により炭鉱の使命は失われ、昭和45年（1970年）三山の灯は消えることとなった。

主 催 羽幌炭鉱ファンクラブ 代表 室田憲作

事務局 北海道苫前郡羽幌町南2条6丁目 三浦義之 090-9759-7766

※このチラシは現段階のものであり、今後変更があることを了承願います。